

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	東郷町役場	代表者名	井俣憲治
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	0561-56-0717
担当者役職	主任	担当者氏名	大庭桃加
住所	470-0198 愛知県東郷町大字春木字羽根穴1		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 拓也
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	EBPMについての説明、グループワーク時のサポートが分かりやすかった。 職員が積極的に意見交換する姿が見られた。 研修資料等を事前に丁寧に示していただいたこと、グループの発表時にzoomを利用し、付箋に書かれた文字も画面に大きく表示していただくなど、とてもスムーズで分かりやすい研修であった。
アドバイザーへの要望事項	次年度の基礎研修や、この次のステップとなる研修を開催するにはご協力いただけるとありがたいです。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年2月28日	講演(実地)	有	令和6年1月5日	1138
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月28日	支援・助言（実地）	13時00分	16時30分	20
				活動時間（分）	190
3-2. 派遣場所	会場名	東郷町 町民会館2階 大会議室	最寄駅	赤池駅	
	所在地	愛知県愛知郡東郷町春木北反田14番地	最寄駅からの交通手段	地下鉄鶴舞線「赤池駅」⇒名鉄バス豊田行き「和合」下車	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	東郷町役場 主事・主任級職員	24人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	問題：EBPMがそもそも何かという基礎知識がない職員が多く存在する。そのため全庁的にデータ利活用が出来ておらず、各種統計を正確に分析してより効果的な政策を選択していくというEBPM推進の機運が高まっていない。目標や課題の設定があいまいな既存事業も多く存在する。 課題：データ利活用・EBPMがなぜ必要なのか共通認識を持つ。統計分析に関する知識及びデータ利活用に関する当事者意識を向上させる。事業を行う際の目標や課題設定の必要性について意識を持つ。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	EBPMとは何か、正しいデータ利活用について多くの職員に認識を共有させ、各々の部署においてデータを利活用して各種事業に対し目標設定・課題解決等ができるようになること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	職員23名に対し、EBPMの基礎研修を行っていただいた。 具体的にはEBPMにおいて検討すべき部分の「現状分析」を行い、特に「目標」「問題・課題」「事業概要」部分にフォーカスし、グループワークでは仮説検証の設計図を描き、必要なデータ・分析手法、表現方法（選択すべきグラフ）までを模造紙にまとめ、発表を行いました。グループワークを中心とした研修を行っていただき、各グループ積極的に意見を出し合う姿が見られました。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	「EBPMという言葉も知らない」という認知度だった職員が、EBPMの基礎を学び、これからの自治体にとってデータを活用し分析した上で有効な政策を考える必要性や、今ある既存の事業でも新規の事業でも目標・問題・課題を明確にする重要性や実践を通してその手法を学び、今後の糧とすることができた。 既存事業としてグループワークに挙げた3テーマについては、分析の設計図ができたので、データのあるものについては検証を行う前段階の状態となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	各々の部署においてデータを利活用して各種事業に対し目標設定・課題解決等ができるレベルに達するためには、継続的な基礎研修により多くの職員にEBPMの基礎を定着させることに加え、データ収集・分析手法・政策立案と実施など、応用研修も必要である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別紙のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員が、事業に対して目標や課題を意識し、KPIを設定・データ分析を行い、より効果的な政策を選択し提案できるようになること。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

